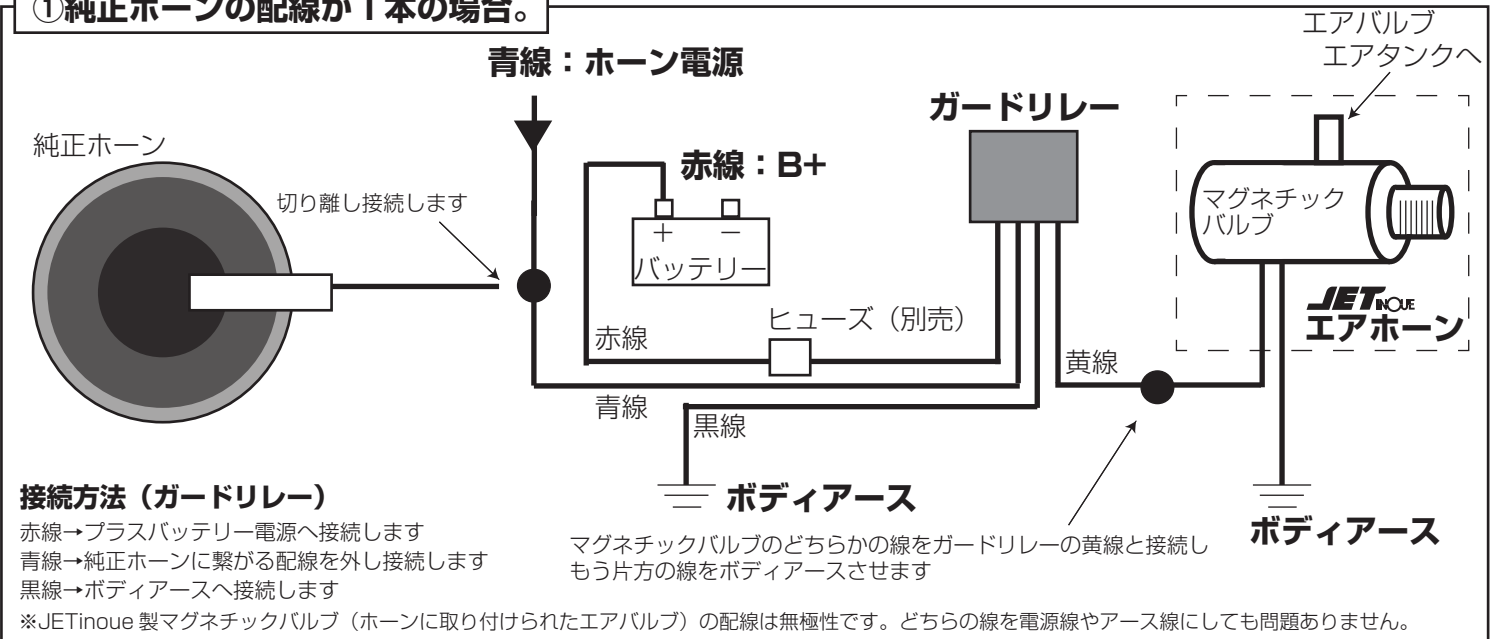
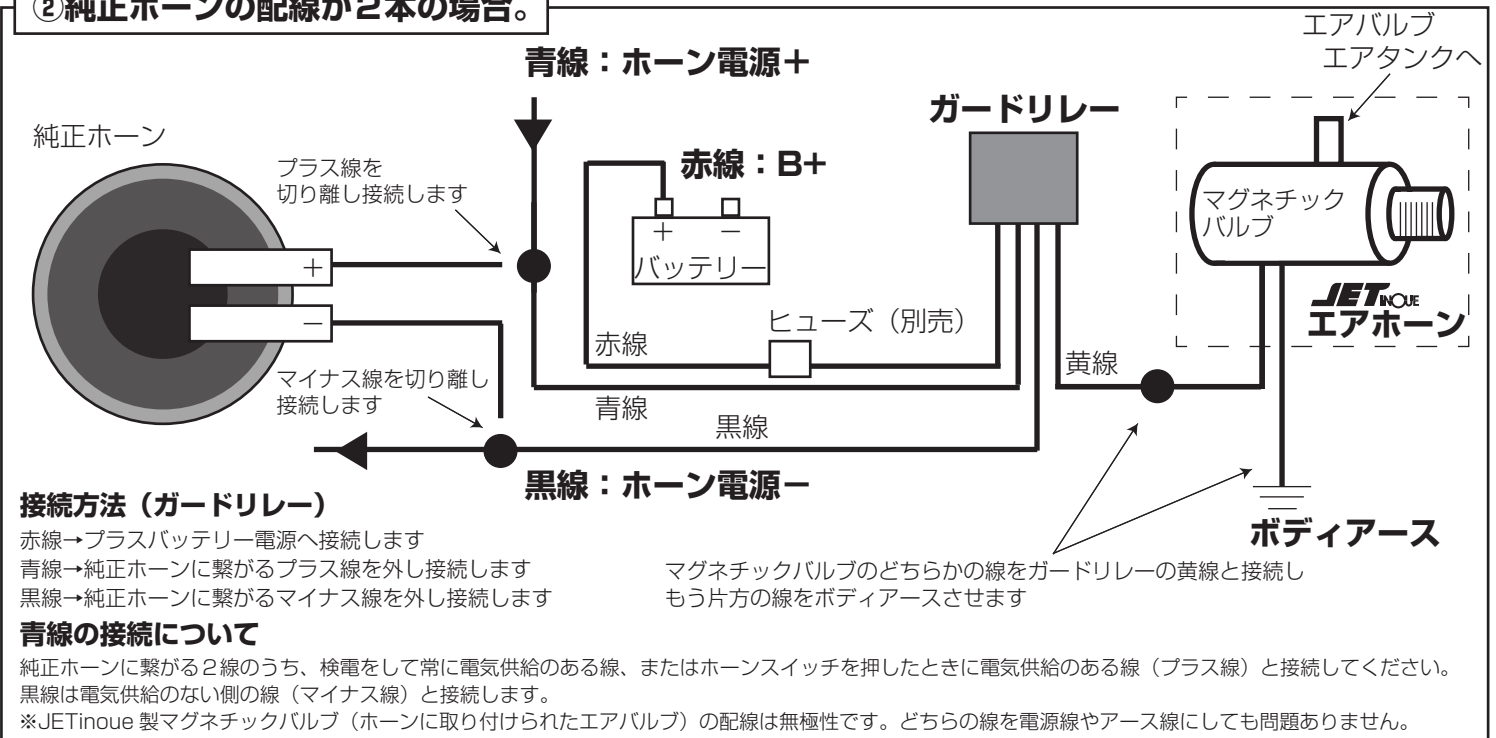


下記に配線例（純正ホーンスイッチを使用する場合）を記載しましたので参考にしてください。

## ①純正ホーンの配線が1本の場合。



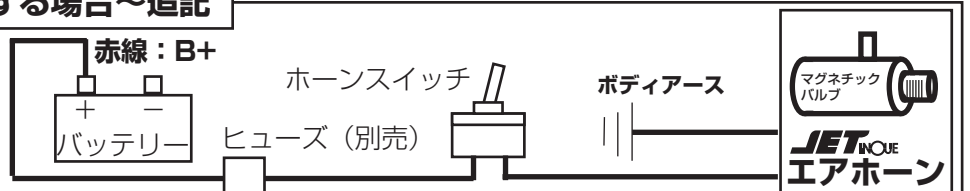
## ②純正ホーンの配線が2本の場合。



- \* ガードリレー赤線と接続するバッテリー電源のあいだに、使用するホーンの消費電流に応じてヒューズ（別売）をご利用ください。  
目安：エアホーン1本（24V専用エアバルブ）→5A、エアホーン2本（24V専用エアバルブ）→10A、エアホーン1本（12/24V共用エアバルブ）→10A、エアホーン2本（12/24V共用エアバルブ）→20A
- \* 純正ホーンが2個取付けられている場合は、配線加工をおこなわない側の純正ホーンの配線を取り外し、作動しないようにして、絶縁をして下さい。

## ③別売りのホーンスイッチを使用する場合～追記

505113 及び 505114 ガードリレーは不要です  
電源側の配線にバルブの容量にあわせて  
ヒューズを取り付ける必要があります。  
JET 低電流 1.5A 系エアホーン→3A以上のヒューズ  
JET 低電流以外 DX 系のエアホーン→10A以上のヒューズ  
他社製エアホーン→定格出力に応じたアンペアヒューズ



- コードを延長する場合、赤 / 黄線は AV2.00sq 以上、青線は AV1.25sq 以上のコードを使用し、接続はギボシ等を使用し確実に結線 / 絶縁してください。
- 作業に際しては必ずバッテリーのマイナス端子を外し、作業終了時に接続して下さい。他社のガードリレーをお使いの場合はその取扱説明書に従って下さい。
- 上記の配線図は純正ホーンスイッチを使用する参考図です。取付けする車両により配線方法が異なる場合や取付不可の場合がありますので予めご了承下さい。
- 本製品には金属部分の角やエッジ等、鋭利な部分もございますので怪我等をされないよう手袋で手を保護する等、安全に十分注意して作業を行なって下さい。
- ホーン開口部から雨水等が入らないようご注意ください。
- 本製品の分解や改造は危険ですので絶対におやめ下さい。また、電圧の異なる車両への取付けはおやめ下さい。
- 使用中に異常を感じたときは直ちに使用を中止し、本製品を取外して下さい。
- 誤った取付けや使用により発生した故障や事故等に関しましては、当社では一切の責任をおいかねます。